



*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界

# 2021年度 第1四半期 決算説明会資料

2021年8月5日  
株式会社UACJ



1. 2021年度 第1四半期業績

2. 2021年度 通期業績見通し

3. 構造改革の進捗

4. サステナビリティへの取り組み

5. ご参考データ

# 1. 2021年度 第1四半期業績



## 業績 サマリー

**経常利益 116億円(前年同期 0.4億円)**

### ■ 数量：前年同期比 増

- UATH<sup>\*1</sup>(タイ)、TAA<sup>\*2</sup>(米国)の缶材が引き続き増加
- 自動車を中心とした輸送用機械向けは需要回復により、増加

### ■ 経常利益：前年同期比 大幅増

#### ◎増益要因

- 国内事業業績改善(コロナ影響回復含む)
- UATH業績改善
- TAA業績好調継続
- 棚卸評価関係の好転

#### △減益要因

- 特になし

## 第1四半期 業績

(単位: 億円)	2020年度 1Q (A)	2021年度 1Q (B)	増減 (B) - (A)
連結売上高	1,333	<b>1,738</b>	405
連結営業利益	△ 6	<b>132</b>	138
棚卸影響前 連結経常利益	10	<b>51</b>	40
棚卸影響額	△ 10	<b>65</b>	75
連結経常利益	0	<b>116</b>	115
連結当期純利益	△ 2	<b>88</b>	89
Adjusted EBITDA	87	<b>145</b>	58

## セグメント別 売上高・営業利益

(単位:億円)	2020年度 1Q (A)		2021年度 1Q (B)		増減 (B) - (A)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	1,120	10	<b>1,596</b>	<b>149</b>	476	139
加工品・関連事業	394	△ 2	<b>340</b>	<b>2</b>	△ 54	4
(調整額)	△ 180	△ 13	<b>△ 199</b>	<b>△ 18</b>	△ 19	△ 5
合計	<b>1,333</b>	<b>△ 6</b>	<b>1,738</b>	<b>132</b>	405	138

## アルミ板 品種別売上数量

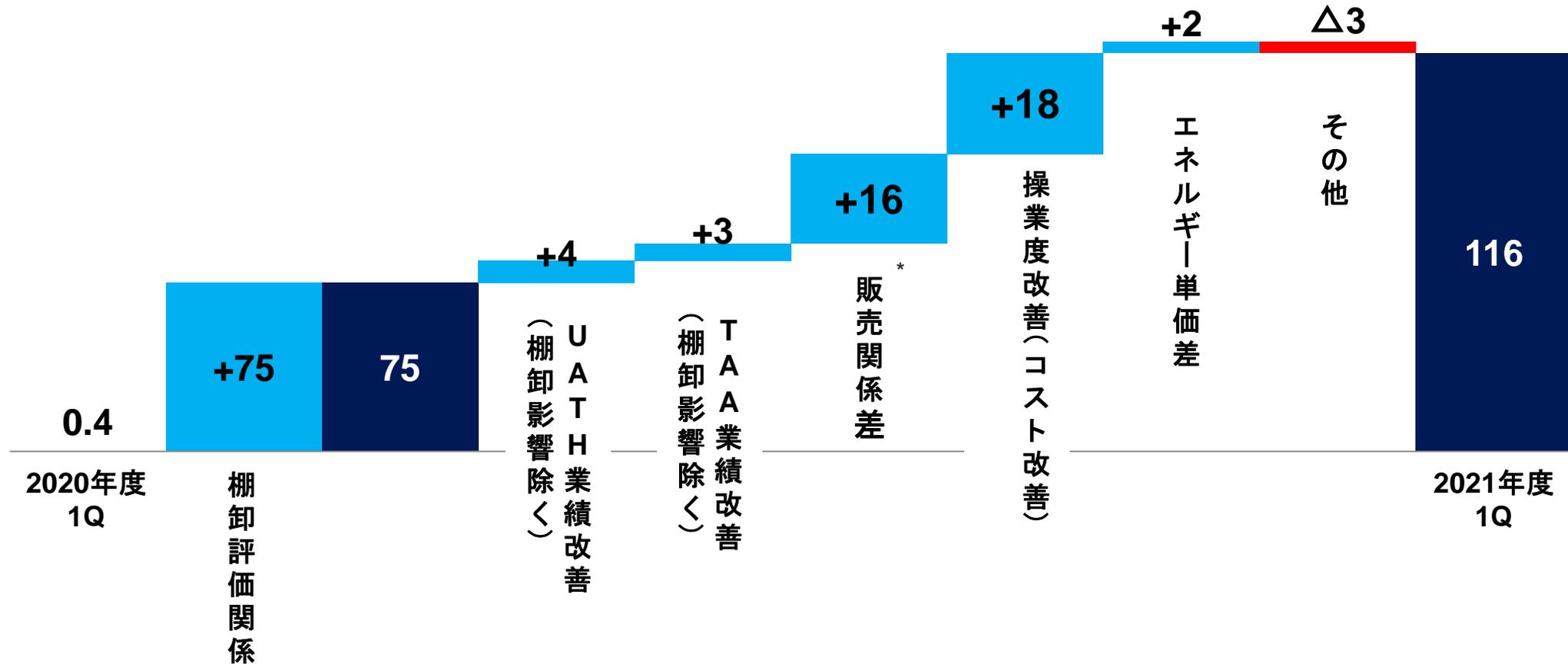
(単位:千トン)

品 種	2020年度 1Q (A)	2021年度 1Q (B)	増 減 (B) - (A)
缶 材	189	<b>204</b>	15
箔 地	12	<b>15</b>	3
I T 材	6	<b>4</b>	△ 2
自 動 車 材	22	<b>38</b>	17
厚 板	10	<b>12</b>	3
その他一般材	35	<b>57</b>	22
合 計	<b>272</b>	<b>330</b>	<b>58</b>
	〔 国内市場向け 107 海外市場向け 165 〕	〔 国内市場向け 128 海外市場向け 202 〕	〔 国内市場向け 21 海外市場向け 37 〕

# 連結経常損益分析 (2020年度1Q → 2021年度1Q)

0.4億円 (2020年度1Q) → 116億円 (2021年度1Q)

(単位:億円)



\* 販売関係差 : 国内販売数量の増加および、品種構成の好転に伴う損益差

# 連結貸借対照表

## 販売の回復、地金価格の上昇により棚卸資産などが増加

(単位: 億円)

	21/3末	21/6末	21/3末比 増減額
現金及び預金	281	258	△ 23
受取手形及び売掛金	1,200	1,323	123
棚卸資産	1,317	1,565	248
その他流動資産	148	216	68
有形・無形固定資産	4,003	4,001	△ 2
投資その他の資産	381	401	20
資産合計	7,330	7,764	434
支払手形及び買掛金	1,011	1,002	△ 9
短期借入金	1,100	1,243	143
長期借入金	2,257	2,211	△ 46
その他	996	1,200	204
株主資本合計	1,775	1,855	80
その他包括利益・支配株主持分	190	252	62
負債及び純資産合計	7,330	7,764	434

# 連結キャッシュフロー計算書

## 運転資金増加により有利子負債は増加するも、D/Eレシオは好転

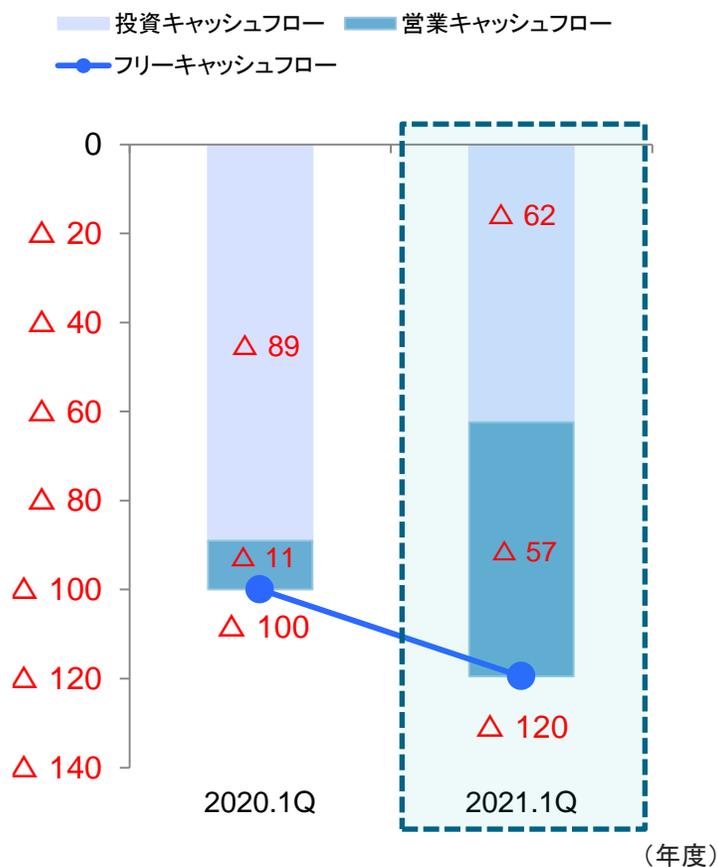
### 2021年度1Q 連結キャッシュフロー

(単位:億円)

税引前利益	114.6
減価償却費(のれん含む)	85.0
債権債務増減他	△ 256.7
<b>営業キャッシュフロー計</b>	<b>△57.1</b>
設備投資 他	△ 62.4
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>△ 119.5</b>
現預金増減(△は増加)	22.7
<b>有利子負債の増加</b>	<b>96.8</b>

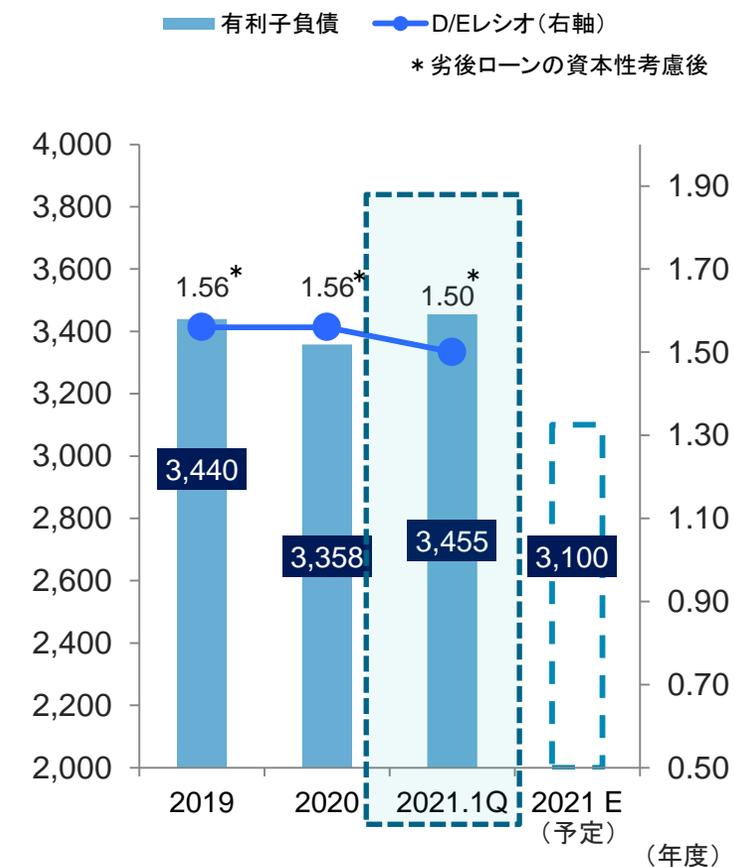
### 連結キャッシュフロー 推移

(単位:億円)



### 有利子負債残高・D/Eレシオ

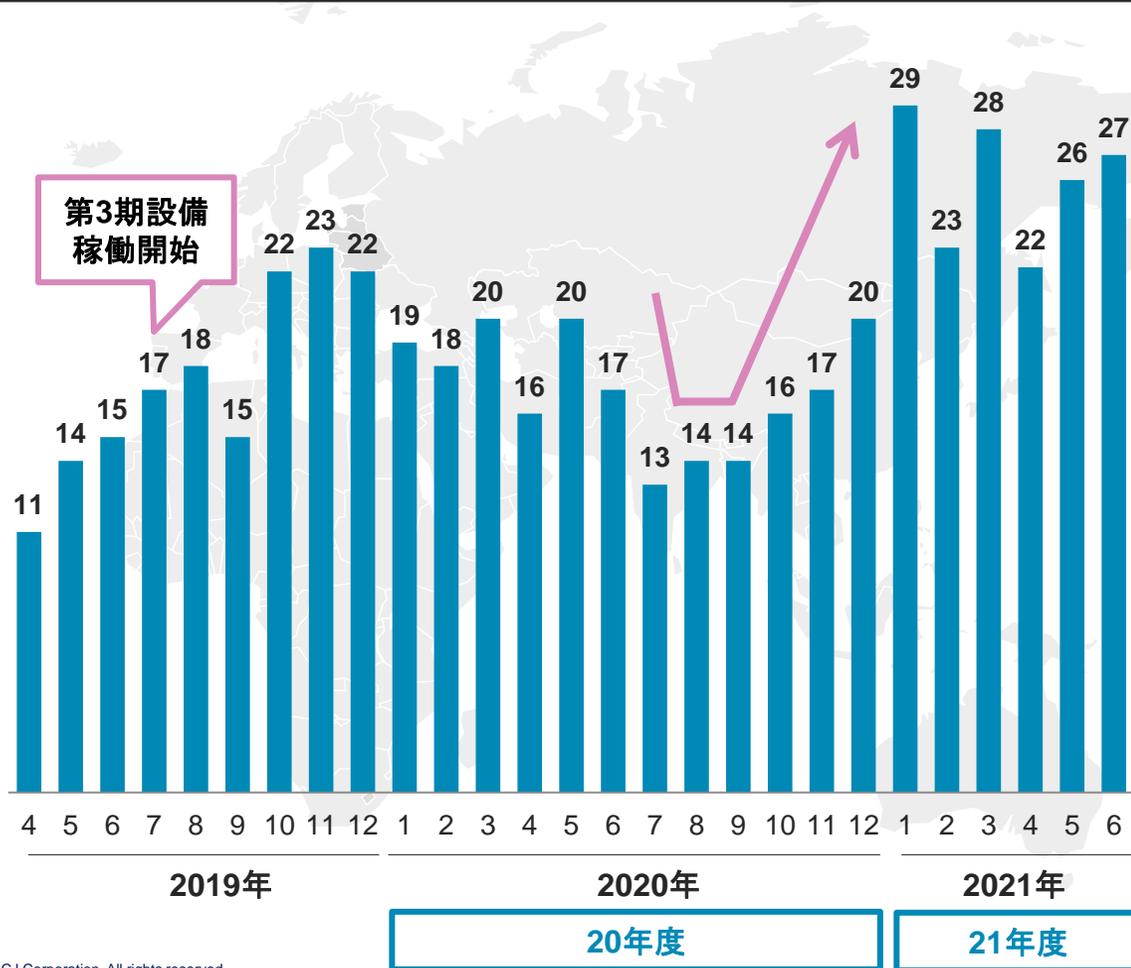
(単位:億円)



# タイ(UATH)の状況 ~2021年度 1Q総括

東南アジア、北米を中心とした旺盛な缶需要が追い風となり販売量増加、損益も好転

UATH 月次販売量(単位：千t)



## 1Q 総括

缶材需要 : コロナ影響から回復。生産能力以上の引き合いがくるなど、旺盛な需要環境が4~6月も継続

生産量 : 約25千t / 月(1Q:1~3月)

販売量 : 約27千t / 月(1Q:1~3月)

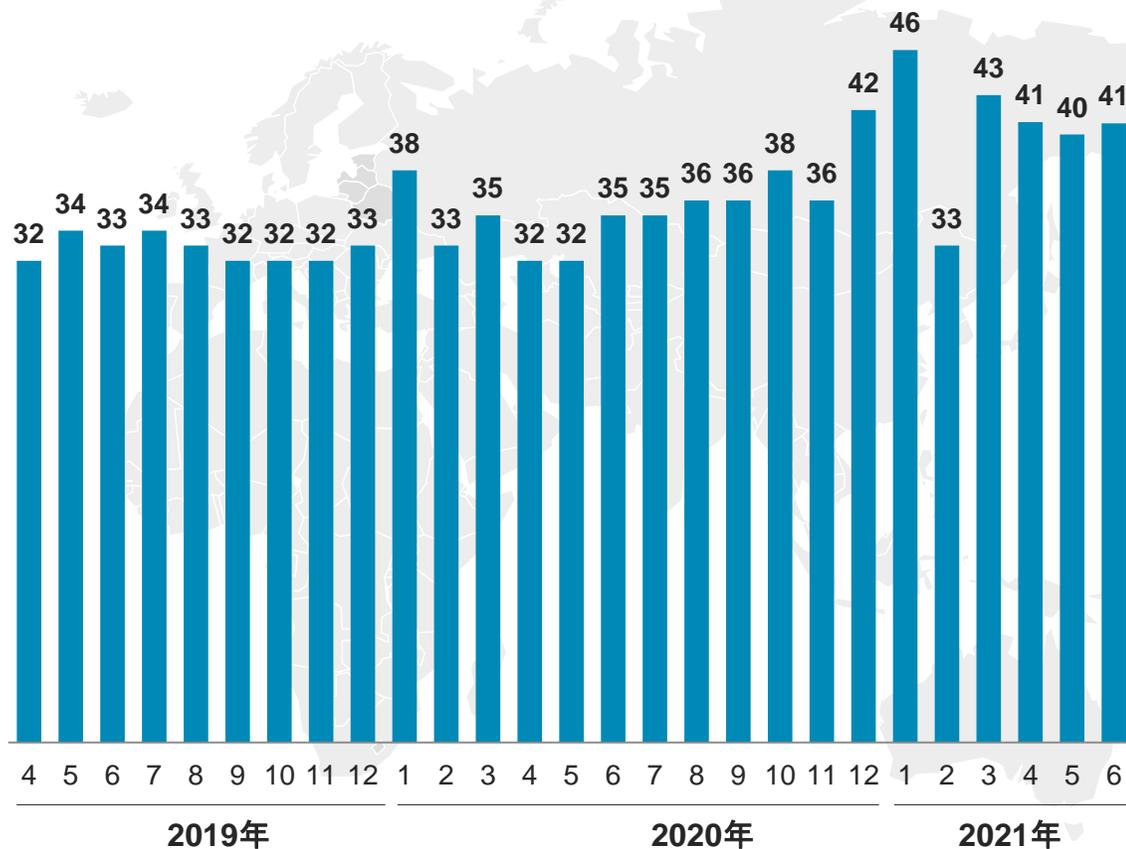
損益 : (億円)

	20年度 1Q[1-3月]	21年度 1Q	前期比
売上高	189	287	98
営業利益	△7	15	22
経常利益	7	5	△2
棚卸影響前 経常利益	△3	1	4

# 米国(TAA)の状況 ~2021年度 1Q総括

消費者の嗜好変化を背景とした旺盛な北米缶需要を取り込み、増収増益を達成

TAA 月次販売量(単位：千t)



## 1Q 総括

**缶材需要** : 消費者のサステナビリティへの関心の高まりが追い風となり、旺盛な需要環境が継続

**販売量** : 約41千t / 月(1Q:4月~6月)

**設備** : 約450千t / 年体制確立

損益	(億円)		
	20年度 1Q	21年度 1Q	前期比
売上高	289	509	220
営業利益	△2	66	68
<b>経常利益</b>	<b>△7</b>	<b>60</b>	<b>67</b>
棚卸影響前 経常利益	13	15	3

# 米国(UWH\*)の状況 ~2021年度 1Q総括

## EVが進行している北米でアルミ自動車部品の受注量、新規引き合いが増加



### 1Q 総括

- 需要 : EV市場の拡大に伴い新規引き合いが急増
- 設備 :
- ・ ミシガン州の本社工場に押出機を1機追加
  - ・ アリゾナ州に新工場を設立(2021年7月稼働)

損益 : (億円)

	20年度 1Q(1-3月)	21年度 1Q(4-6月)	前期比
売上高	42	49	7
営業利益	△3	△3	△1
経常利益	△4	△4	△0

## 2. 2021年度 通期業績見通し



## 2021年度 通期業績見通し

(単位:億円)	2021年度 (5月時見通し) (A)	2021年度 (最新見通し) (B)	2020年度 (C)	増減 (B)－(A)	増減 (B)－(C)
連結売上高	6,600	<b>7,000</b>	5,698	400	1,302
連結営業利益	220	<b>330</b>	111	110	219
棚卸影響前 連結経常利益	99	<b>134</b>	62	35	72
棚卸影響額	61	<b>116</b>	△ 2	55	118
連結経常利益	160	<b>250</b>	60	90	190
連結当期純利益	80	<b>120</b>	△ 33	40	153
Adjusted EBITDA	508	<b>549</b>	447	41	102

## アルミ板 品種別売上数量(最新見通し)

(単位:千トン)

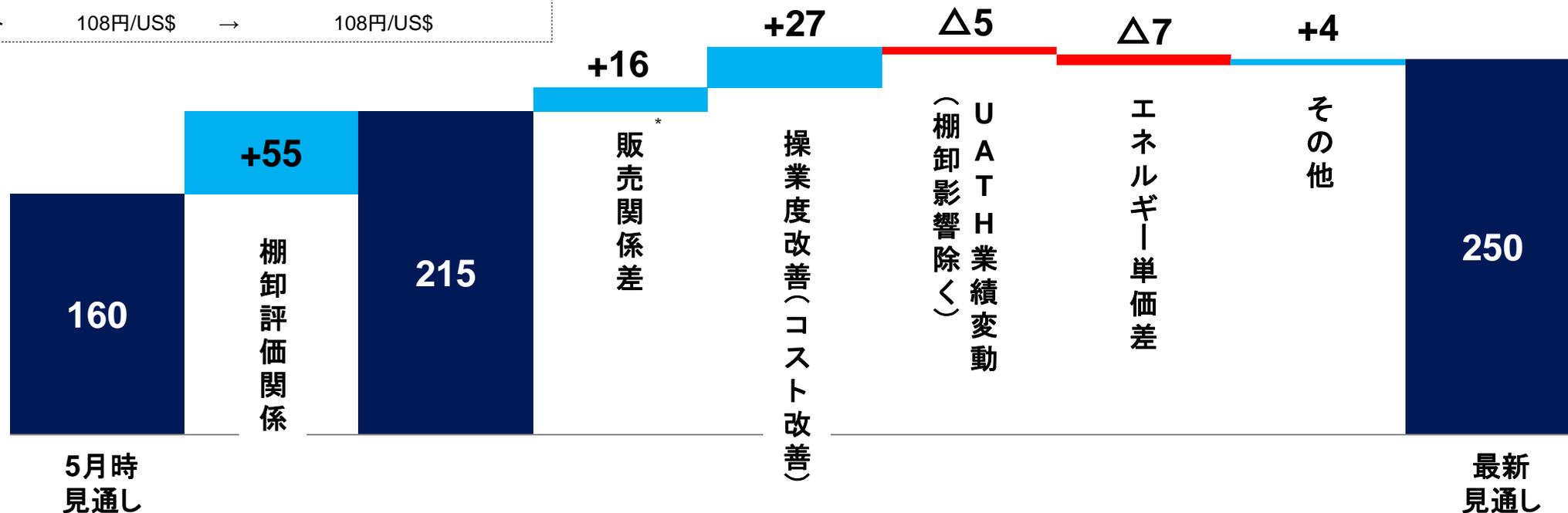
品 種	2021年度 (5月時見通し) (A)	2021年度 (最新見通し) (B)	増 減 (B) - (A)
缶 材	845	<b>847</b>	2
箔 地	59	<b>58</b>	△ 1
I T 材	19	<b>18</b>	△ 2
自動車材	155	<b>157</b>	2
厚 板	49	<b>51</b>	2
その他一般材	201	<b>211</b>	10
合 計	<b>1,328</b> 〔国内市場向け 505 海外市場向け 824〕	<b>1,342</b> 〔国内市場向け 504 海外市場向け 838〕	<b>13</b> 〔国内市場向け △1 海外市場向け 14〕

# 連結経常損益分析 (2021年度5月時見通し → 2021年度最新見通し)

**160億円 (2021年度5月時見通し) → 250億円 (2021年度最新見通し)**

前提条件		
	5月時前提	最新前提
LME	2,100ドル/t	2Q) 2,400ドル/t 下期) 2,100ドル/t
為替レート	108円/US\$	108円/US\$

(単位:億円)



\* 販売関係差 : 国内販売数量の増加および、品種構成の好転に伴う損益差

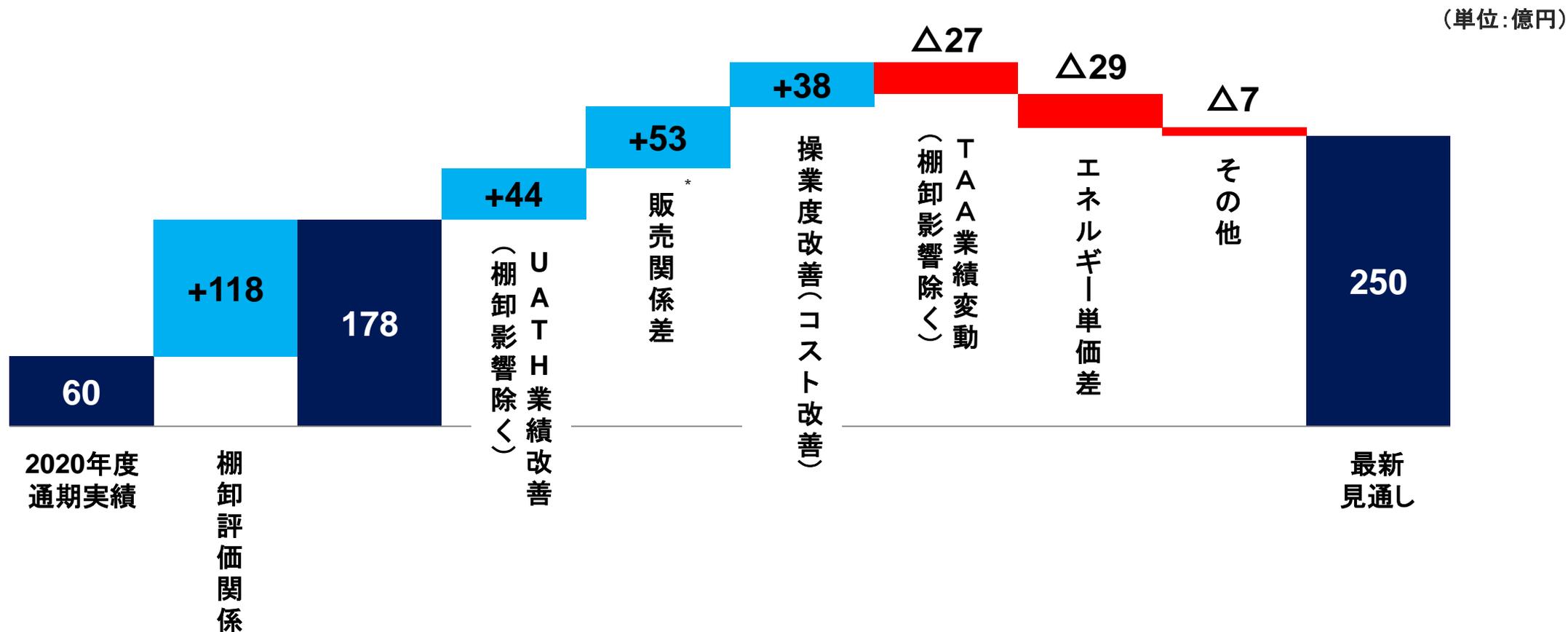
## アルミ板 品種別売上数量(2020年度 対 2021年度最新見通し)

(単位:千トン)

品 種	2020年度 通期 (A)	2021年度 (最新見通し) (B)	増 減 (B) - (A)
缶 材	693	<b>847</b>	154
箔 地	52	<b>58</b>	6
I T 材	25	<b>18</b>	△ 7
自 動 車 材	123	<b>157</b>	34
厚 板	42	<b>51</b>	10
その他一般材	180	<b>211</b>	32
合 計	<b>1,113</b> 国内市場向け 441 海外市場向け 673	<b>1,342</b> 国内市場向け 504 海外市場向け 838	<b>228</b> 国内市場向け 63 海外市場向け 165

# 連結経常損益分析 (2020年度 → 2021年度最新見通し)

60億円 (2020年度) → 250億円 (2021年度最新見通し)

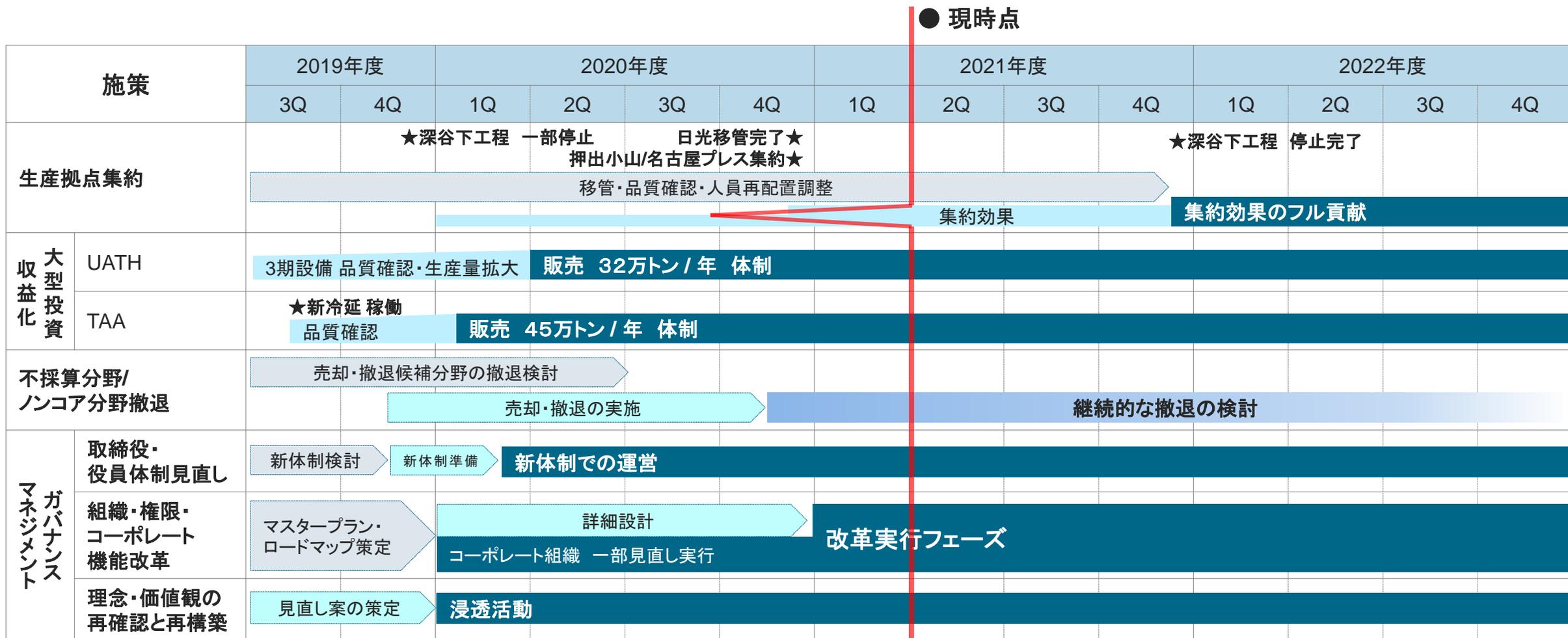


# 3. 構造改革の進捗



# 構造改革の進捗

## 各施策はロードマップに沿ってほぼ計画通りに進捗



## 国内収益構造改革と、選択と集中

# 国内収益構造改革及び、選択と集中による事業再編は実行フェーズから成果出しフェーズに

### 国内収益構造改革の進捗

#### 生産拠点の集約

- 深谷製造所下工程停止
- 日光製造所閉鎖
- 押出小山/名古屋プレス集約と適正化

#### 最適生産体制・品種構成改善

- コロナ禍でも需要が増加する商材の重点販売
- 価格是正交渉の継続
- 国内4製造所の生産モニタリング強化

#### 間接費削減

- 間接部門の業務効率化に向け、BPR\*1を実施
- コーポレート機能の集約/スリム化に向けた最適体制を検討
- 経費コントロールを強化し、経費総額を抑制

### 選択と集中による事業再編

#### 国内事業

- 伸銅事業の売却
- 日光製造所 閉鎖
- 金属加工深谷工場 閉鎖
- 金属加工大阪工場 閉鎖
- 物流子会社株式譲渡 等

#### 海外事業

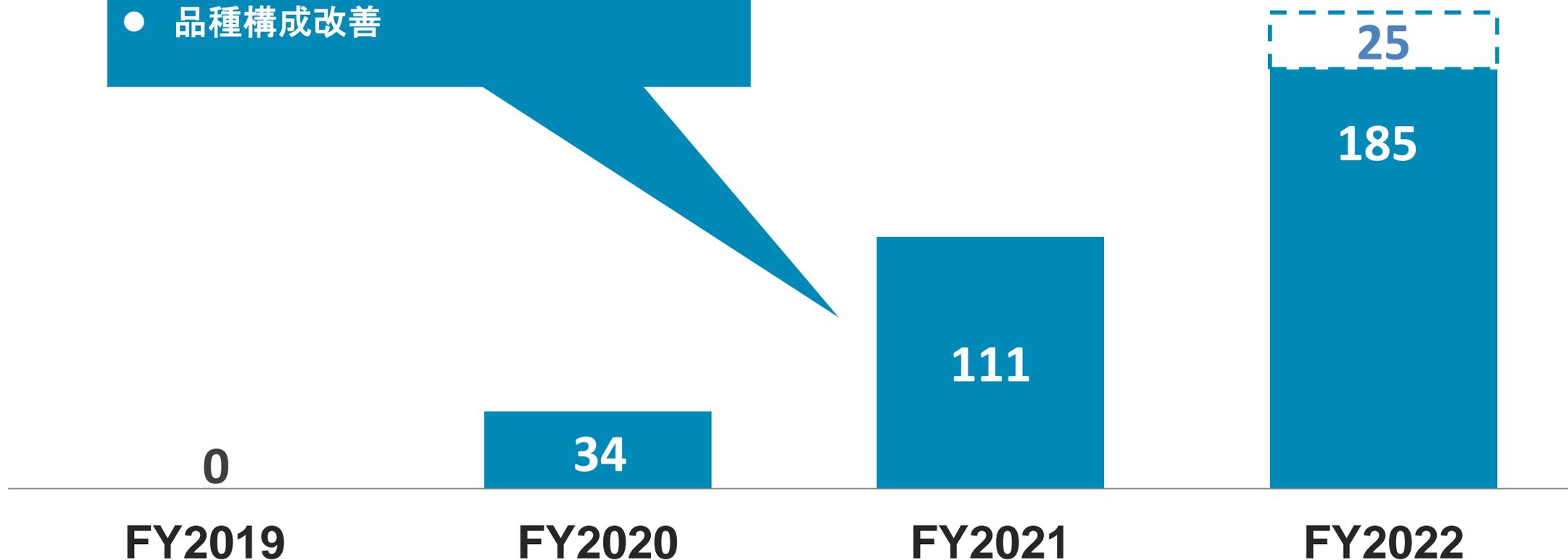
- インドネシア押出会社 譲渡手続き 完了
- タイPF熱交\*2事業 譲渡決定
- タイ押出加工 アユタヤ工場閉鎖
- **中国・天津押出子会社 株式一部譲渡決定** 等

## 構造改革効果の推移

2021年度1Q構造改革効果は国内品種構成の改善等が寄与し、計画通り進捗

(単位:億円)

- 最適生産体制の構築が進捗(福井)
- 品種構成改善

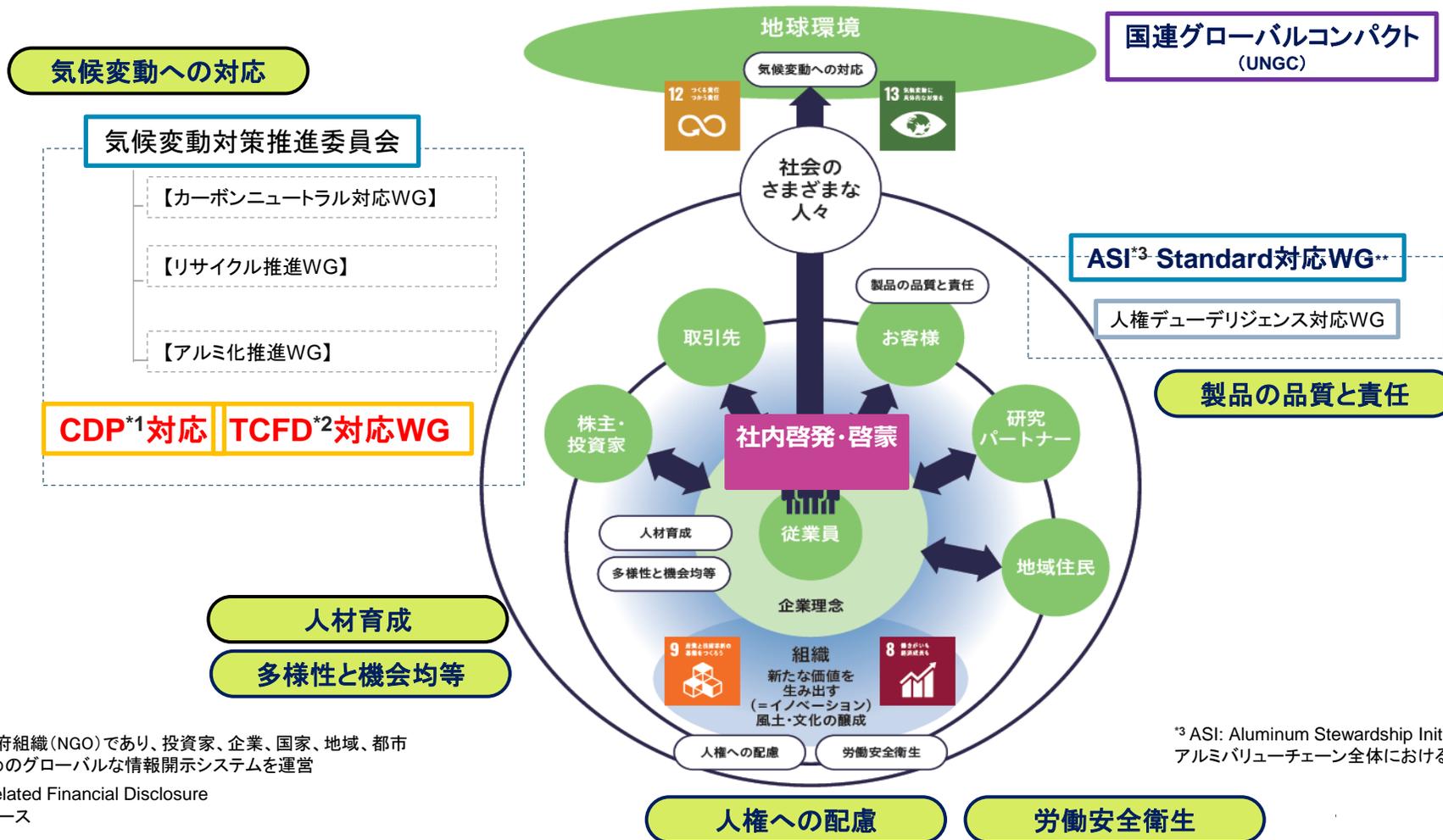


# 4. サステナビリティへの取り組み



# サステナビリティへの取り組み

## UACJグループのサステナビリティ関連施策の全体像を明確化



<sup>\*1</sup> CDP: Carbon Disclosure Project  
 英国の慈善団体が管理する非政府組織(NGO)であり、投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営

<sup>\*2</sup> TCFD: Task Force on Climate-Related Financial Disclosure  
 = 気候関連財務情報開示タスクフォース

<sup>\*3</sup> ASI: Aluminum Stewardship Initiative  
 アルミバリューチェーン全体におけるサステナビリティ向上を目的とする国際イニシアチブ。

# サステナビリティへの取り組み

気候変動対策推進委員会を設立し、定めた重点方針、重点課題に沿って活動を開始

**気候変動対策推進委員会**  
委員長: 石原社長  
委員: 執行役員、中核事業会社社長

事務局(サステナビリティ推進部)

委員会活動のとりまとめ

- ① 会議体の整備
- ② サステナビリティ視点での戦略立案・連携推進
- ③ 対外窓口(イニシアチブ対応など)

## カーボンニュートラル対応WG

カーボンニュートラル政策への対応

- ① 生産活動でのCO2削減(省エネなど)
- ② 調達でのCO2削減(水力地金など)
- ③ 設備投資計画

連携・情報交換

## グリーンテクノロジーPJ

- ① R&D内の技術活動の窓口
- ② グリーン技術開発の戦略立案と実行・支援

## リサイクル推進WG

リサイクル関連戦略立案と実行・支援

- ① 社内屑活用の全社推進
- ② リサイクル製品の開発・展開

協業

## アルミ化推進WG

アルミ化推進戦略の立案と実行

- ① UACJ SMART \*ブランド製品の展開
- ② 他素材からの置換で新規のお客様獲得
- ③ アルミ屑還流の仕組みづくり

協業

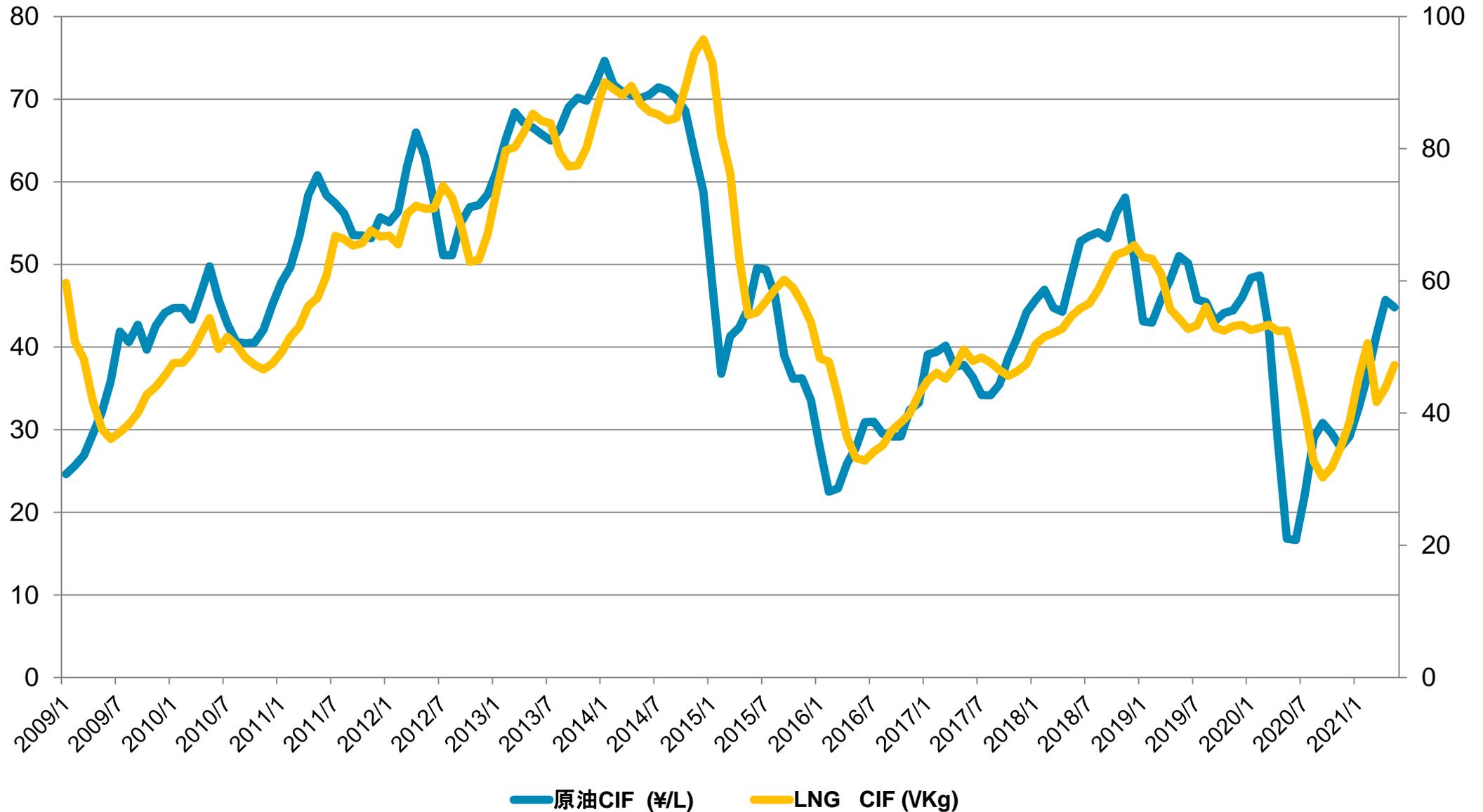
# 5. ご参考データ



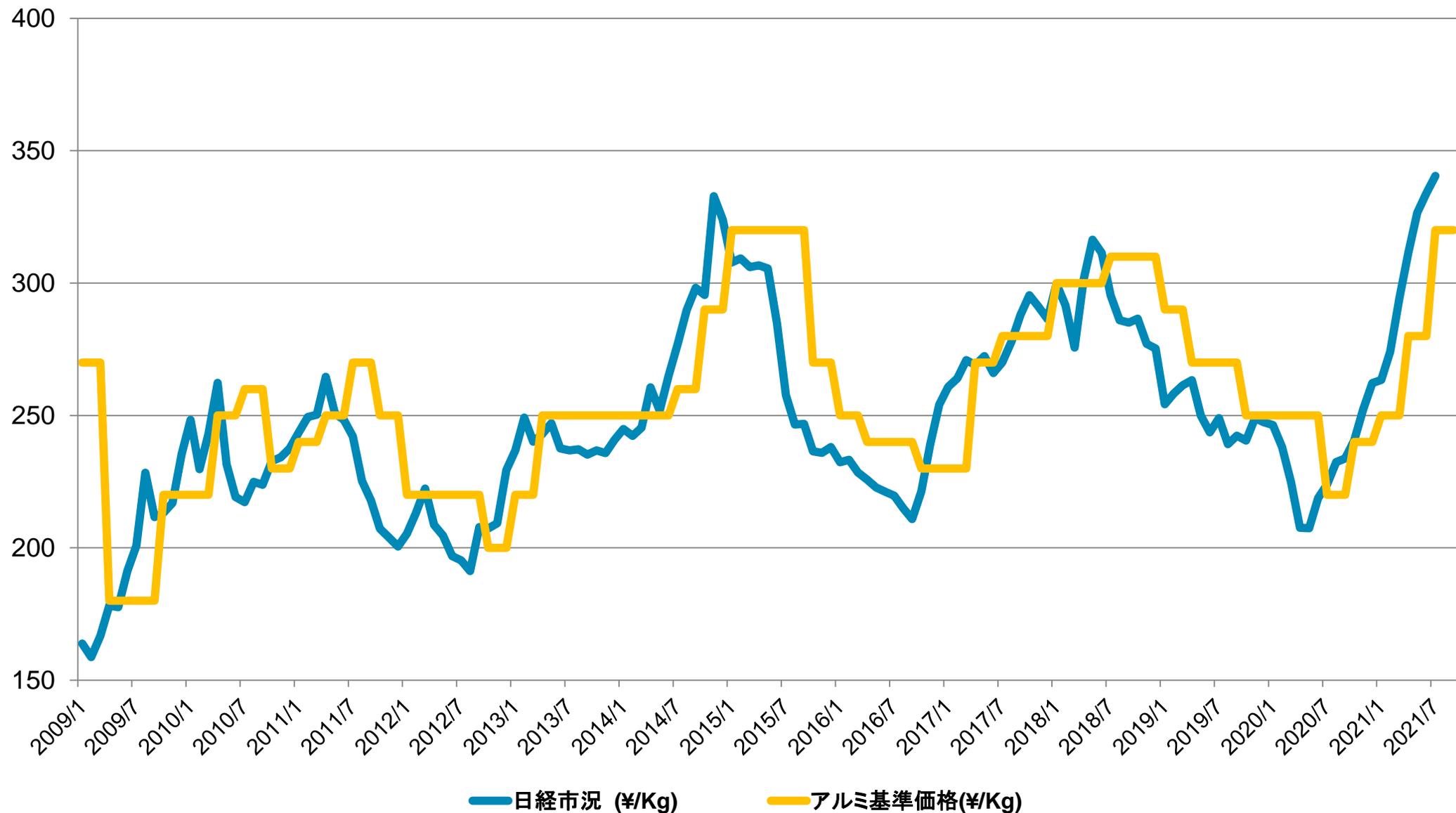
## セグメント別 売上高・営業利益 見通し

(単位:億円)	2021年度 (5月時見通し) (A)		2021年度 (最新見通し) (B)		2020年度 (C)		増減 (B)－(A)		増減 (B)－(A)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	5,920	266	<b>6,430</b>	<b>377</b>	4,778	172	510	111	1,652	205
加工品 ・関連事業	1,480	9	<b>1,300</b>	<b>9</b>	1,651	△ 6	△ 180	0	△ 351	15
(調整額)	△ 800	△ 55	<b>△ 730</b>	<b>△ 56</b>	△ 731	△ 54	70	△ 1	1	△ 2
合計	6,600	220	<b>7,000</b>	<b>330</b>	5,698	111	400	110	1,302	219

# 燃料単価推移



# アルミ地金日経平均・アルミ基準地金



## 諸元と感応度

	2019年度 (実績)	2020年度 (3月末)	2021年度 (6月末)	経常利益への 感応度
アルミ地金 日経平均 (円/kg)	245	243	310	10円/kg上昇した場合 →+20~30億円/年
LME (米\$)	1,749	1,802	2,250	\$100/t上昇した場合 →+22~35億円/年
為替 (円/米\$)	109	106	110	ほぼ影響なし ・燃料単価、添加金属:円高が有利
為替 (円/タイバーツ)	3.5	3.4	3.5	・ロールマージン、為替換算差:円安 が有利
原油 (ドバイ:米\$)	60	45	72	10ドル上昇した場合 →△10~15億円/年

## 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは、今後さまざまな要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。

また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

## 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料並びにIR関係のお問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

財務本部 IR部      TEL : 03-6202-3603      FAX : 03-6202-2023  
URL : <http://www.uacj.co.jp>  
( 東証1部      コード番号 : 5741 )



*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界